

【22_073/思考系メルマガ】『事業』『運用』としてのトレードの考え方

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今週もスタートして、3月が早くも折り返しに突入。

今月が終わると今年の四半期も終わりますから、悔いが残らないようにしていきたいですね。

そして今日はホワイトデー、、、奥さん・彼女さん・娘さん はたまた職場の女性からプレゼントを貰った男性諸氏

お返しはお忘れなく(と言っておくことで、備忘とする 笑)

さて、今日のメルマガは予定していたものとちょっと差替えさせていただいて

最近僕がSNS界隈の情報に日々触れていて感じる違和感と、僕が情報收拾する立場だったら

「こんな情報がほしいのにな」と思う側面から

トレードに関する情報発信に対して思うことをアウトプットしていきます。

□
└─ ■ 『トレード』と『ビジネス(事業)』に違いはあるのか？
└──────────────────┘

先日、非常に興味深いツイートがあったので、引用RTしながら僕の考えを整理しました。

▼ツイート:『事業』『運用』としてトレードを考えるなら▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1503178108685365250?s=20&t=zIDoKIMDeWLyESk9tUZPg>

曰く、いわゆる一般的な『事業』と呼ばれるものには

当然ながらスタートの段階で リスク が伴います。

飲食店など分かりやすいですが、出店にあたり

- ・テナントの契約と敷金、礼金の支払い
- ・機材等の購入、リース契約
- ・オープンスタッフの事前雇用
- ・食材の事前調達

などなど、思いつく物だけを挙げても膨大なコストがかかり、それを無事に回収しつつ

事業を黒字に持って行かなくてはなりません。

一方トレードは、少なくともちょっとした運用資金があれば、口座を開いて誰でも運用を始めることができるという点で

参入障壁が他の『事業』と比べても圧倒的に 低い ですよ。

それゆえに日々新規参入者が後を絶ちませんが、その中でもしっかり足場を固めて成功する人は

1～2割にも満たないのが現実です。

僕はこの『異常に低い参入障壁』こそが、トレードの難しさでもあると感じています。

なぜなら、他の事業はもっと『事前に覚悟すべきリスク要因』が明確に示されていて

その時点で参入者をふるいに掛けているからです。

それでもやるという『一定以上の覚悟』を持った人こそが各マーケットに参戦し各々結果を出していくわけです。

(それでも、飲食業は生き残るのが大変だというのは、想像に難くありません)

ところがトレードの界限はどうでしょうか？

「手持ちの資金でちょっとお小遣いが稼げたらいいよね」

「仕事の収入だけでは不安だから、ちょっとした副収入を得られるようになりたい」

そんな動機から、トレードに興味を持ち始めた人が大半だと思います。

(勿論、その動機そのものが悪い というわけではありません)

ですが、暫く取り組んでいるうちに
相場は我々に対して「現実的な厳しさ」を、容赦なく突き付けてくるわけです。

そしてこの辺から、相場で『勝ち残る人』『負け続ける人』の明暗が分かれてきます。

「負け続ける人」の思考というのは、自分が取ってる「行為に対するリスク」の認識が非常に曖昧
です。

「短期間で、少ない資金で大きく利益を取ろう」という甘言にそそのかされてしまい

裏に控えている“大きなリスク”から目を逸らして、現実性の薄い夢に自分の貴重な資金と時間を
委ねてしまう

その危うさを指摘する人がいないので、いつまでも自分が犯している間違いに気が付かない。

僕は、SNSの情報の一番良くない所は、この点をしっかり指摘する人が極端に少ないことだと思
っています。

まあ、言っても共感されにくいし、説教臭くなるから誰も言いたくないんでしょうけどね。

皆自分は「いい人」って思われたいですもんね。気持ちは分かりますが。。

一方、相場で『勝ち残る人』というのは、逆に『リスク』にきちんと焦点を合わせて

そこをしっかりとコントロールしようとしています。

その意識の結果として、『一貫したルール』『リスクの見える化』といった

多くの人が見過ごしがちな要所をしっかりと押さえて、『運用』としてのトレードを実践しています。

僕自身も、自分のトレードが「ギャンブル性」薄く『中長期的な運用』となるように

リスクのコントロール、手法の一貫性に重きを置いています。

そして、日々の発信でもその考え方を第一とする重要性を色んな形でアウトプットさせて貰って
います。

このメールを読んでいる皆さんにも、その考えの一端が今後も着実に伝われば良いなと思っています。

是非、他の発信も併せてみている人は、僕のこの考えに触れてどう感じたか

率直な意見、感想を送ってもらえると嬉しいです。